

令和3年度 学校経営方針

群馬県立館林特別支援学校

1 学校教育目標

《基本目標》

児童生徒一人一人の心身の状態の理解のもとに、その能力や適性に応じた発達を支援し、社会の一員として生涯にわたって豊かな力を持ち、意欲的に生きる力を備えた児童生徒の育成を目指す。

《具体目標》

- (1)「自立」 基本的な生活に必要な知識・技能を身につけるようにし、自立的に生活できる力を育てる。
- (2)「意欲」 個々の実態に応じて学習活動や教材教具等を工夫し、学校生活に意欲をもつようにする。
- (3)「思いやり」 周りの人との関わりを大切にして、他者を思いやる心を育てる。

2 目指す学校像

- 子どもの能力を伸ばし、可能性を大切にする学校
- 子どもの気持ちを大切にする学校
- 地域の特別支援教育について共に考え、地域のニーズに応える学校

3 学校経営方針

(1) 心豊かに生き生きと学ぶ子ども

- ①一人ひとりの児童生徒の人権を尊重して、その感性・思考・行動を理解・受容していく。
- ②全職員が教育課程を理解したうえで実施し、評価によって改善を図っていく。
- ③子どもの実態把握に基づいて、具体的な目標を設定し、実行していく。
- ④「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用した切れ目ない指導を行っていく。
- ⑤「生きる力」を育むことになる健康づくり（食育、衛生指導等）の実践に努める。
- ⑥先端技術を取り入れたりしながら、教材・教具の開発に努め、自己有用感を高める授業を実践していく。

(2) 家庭・地域・関係機関と共に歩む学校、社会に開かれた教育課程

- ①家庭と連携・協働を深めることによって、教育活動を充実させていく。
- ②学校評価制度や学校評議員会等を通じて、本校の取組を理解していただくとともに、外部からの意見を学校経営の改善に役立たせる。
- ③地域での共生を見据えた交流（地域や他の学校との）を行ったり、積極的に地域資源を生かしたりしていく。
- ④関係機関との連携を深めるとともに、特別支援教育に対する理解・啓発に努める。
- ⑤学校公開やホームページ、学校だより等を通じて、積極的に本校の取組を発信していく。

(3) 安全で安心な教育環境

- ①日頃から教職員の危機管理意識の高揚を図り、防災体制や施設・設備等の管理体制を整備しておく。
- ②科学的・専門的知見に基づいて、危機管理への対応を適切に行っていく。
- ③児童生徒の配慮事項を正確に把握したうえで、日々の健康観察や保健指導を行い、心身の健康問題には、早期発見・早期対応を行っていく。
- ④医療的ケアが必要な児童生徒については、関係者間で連携を密にとり、円滑に業務が行われるようにする。
- ⑤児童生徒が生涯を通じて安全な生活を送るように、安全教育を行っていく。

(4) 学校教育に責任と誇りをもって働く教職員

- ①教育公務員としての責任と自覚を持って職務を行っていく。
- ②教職員が人権尊重の理念を理解し、日常の取組に対する振り返りを通して、その体得に努めていく。
- ③教職員相互の協力体制があり、誇りをもって生き生きと働くことができる職場環境づくりを進める。
- ④学校全体で研修に取り組み、専門性や指導力を向上させていく。
- ⑤学校全体で業務の改善や効率化に取り組んだりしながら、教職員のワークライフバランスの確立に努めていく。
- ⑥教職員の心身の健康の保持・増進に取り組んでいく。